

SPA100シリーズ電話アダプタのコール機能設定

目的

コール機能の設定は非常に便利で、転送、会議、緊急番号など、コールのさまざまな機能を設定できます。この機能を使用すると、コールをより詳細に制御し、コールのパフォーマンスを向上させることができます。

このドキュメントの目的は、SPA100シリーズデバイスでコール機能を設定する方法を示すことです。

該当するデバイス

- SPA100シリーズ

[Software Version]

- 1.3.1 (003)

コール機能の設定

ステップ1：電話アダプタ設定ユーティリティにログインし、[Voice] > [Line]を選択します。[Line]ページが開きます。

User 1

Call Forward Settings	
Cfwd All Dest:	<input type="text"/>
Cfwd No Ans Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Busy Dest:	<input type="text"/>
Cfwd No Ans Delay:	20
Selective Call Forward Settings	
Cfwd Sel1 Caller:	<input type="text"/> 1234
Cfwd Sel2 Caller:	<input type="text"/> 9234*
Cfwd Sel3 Caller:	<input type="text"/> 2365*
Cfwd Sel4 Caller:	<input type="text"/> 1234567????
Cfwd Sel5 Caller:	<input type="text"/>
Cfwd Sel6 Caller:	<input type="text"/>
Cfwd Sel7 Caller:	<input type="text"/>
Cfwd Sel8 Caller:	<input type="text"/>
Cfwd Last Caller:	<input type="text"/>
Cfwd Sel1 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel2 Dest:	<input type="text"/> 12345678901
Cfwd Sel3 Dest:	<input type="text"/> 1234567????
Cfwd Sel4 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel5 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel6 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel7 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel8 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Last Dest:	<input type="text"/>

Submit Cancel Refresh

ステップ2:[コール機能の設定(Call Feature Settings)]領域までスクロールダウンします。

Call Feature Settings					
Blind Attn-Xfer Enable:	<input type="button" value="yes ▾"/>	MOH Server:	<input type="text" value="www.mohexample.com"/>		
Xfer When Hangup Conf:	<input type="button" value="yes ▾"/>	Conference Bridge URL:	<input type="text" value="conferencebridgeexample"/>		
Conference Bridge Ports:	<input type="button" value="8 ▾"/>	Enable IP Dialing:	<input type="button" value="yes ▾"/>		
Emergency Number:	<input type="text" value="1111111111,2222222222"/>		Mailbox ID:	<input type="text" value="2584"/>	

ステップ3:[Blind Attended and transfer]に割り当てるステータスを[*Blind Attn-Xfer Enable*]ドロップダウンリストから選択します。この機能を使用すると、ATAは現在のコールを終了し、コールを転送することで在席転送を実行できます。無効にすると、両方の接続を維持しながらコールを転送します。

ステップ4：会議モードのときに転送コールに割り当てるステータスを、[*Xfer When Hangup Conf*]ドロップダウンリストから選択します。この機能を有効にすると、会議コールの終了時にATA転送が行われます。

ステップ5:[会議ブリッジポート(*Conference Bridge Ports*)]ドロップダウンリストから、会議コールの参加者の最大数を選択します。

ステップ6：緊急番号パターンをカンマで区切って[緊急番号(*Emergency Number*)]フィールドに入力し、コールの進行中にフックフラッシュを無効にします。緊急コールが終了すると、フックフラッシュ機能は通常の状態に戻ります。

ステップ7:[MOH Server]フィールドに、自動応答ストリーミングオーディオサーバのユーザIDまたはURLを入力します。

ステップ8：外部会議をサポートする会議ブリッジURLにサーバー名を入力します。

ステップ9:[IPダイヤルを有効にする]ドロップダウンリストから、IPダイヤルに割り当てるステータスを選択します。形式は[userid@]a.b.c.d[:port]です。

注：useridには数値を使用する必要があり、「@」記号は*キーで示され、a、b、c、dは0から255までの値です。ポート番号を指定しない場合、デフォルトのポートは5060です。

ステップ10:[Mailbox ID]フィールドにメールボックスのID番号を入力します。

ステップ11:[送信(Submit)]をクリックして変更を保存します。